

臨床研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

2020年4月1日から2021年11月30日までの期間に、
脳梗塞に対して血栓回収療法を受けた患者さんは以下をご覧ください。

【研究課題名】急性頭蓋内主幹動脈閉塞の血栓回収療法における術前虚血コア体積と術後出血性梗塞の関係の検討

【研究期間】2020年4月1日～2021年11月30日

【研究責任者】福井赤十字病院 脳神経外科 北原 孝宏

【研究目的と意義】

当院では2021年10月にRAPIDという画像解析システムを導入しました。RAPIDとはMRIで脳の部位ごとの血流量を示す画像解析システムです。脳梗塞の患者さんに血管内治療をお勧めするかどうか判断する際に海外で広く用いられているシステムです。2012年12月以降は、RAPIDによる解析に基づいて、血管内治療をお勧めするかどうか判断しています。

今回、RAPIDを開始する以前に、脳梗塞で血管内治療を行った患者さんについて、RAPIDを用いてさかのぼってMRI画像を分析しました。RAPIDによる画像解析が有効であるかどうか検討することにしました。

【研究の方法】

福井赤十字病院で、2020年4月1日から2021年11月30日までの期間に脳梗塞に対する血栓回収療法を行った患者さんを対象とします。

方法としては、血管内治療の前後で撮影したMRI画像を、さかのぼってRAPIDで解析しました。治療の有効性や安全性をRAPIDで予測できるか検討します。

【個人情報の保護】

収集したデータは匿名化した上で保管します。この研究の全ての過程は、国が定めた倫理指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」「個人情報保護に関する法律」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究は患者さんの過去のデータを利用するだけです。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」によると特に文書で同意をいただく手続きが必要ないとされており、しかしご自身の情報を使用されたくない患者さんもおられるかと思えます。その場合は研究に含めませんのでお知らせ下さい。研究への協力を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の研究担当者までお知らせください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータを分らない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

【問い合わせ先（研究担当者）】

氏名：北原 孝宏(福井赤十字病院 脳神経外科)

住所：〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

電話：0776-36-3630

FAX：0776-36-4133